

100年先に伝えていく毛呂山の歴史遺産

鎌倉街道

第5回 鎌倉街道が 評価されるのはなぜか？



毛呂山を通る中世の道「鎌倉街道」は、周辺に古墳や中世遺跡が集まる歴史の宝庫です。「鎌倉街道」は、往時の景観を伝える道自体が大きな魅力を持つ遺跡です。

今回は、鎌倉街道がなぜ評価されるのかをご紹介します。

中世の道の形が 町内各所に残る

中世の道「鎌倉街道」は、高低差を少なくし、平坦になるように掘りくぼめた道となっています。

発掘調査により、道の両脇に側溝が設けられていることが確認され、現代



▲発掘調査により確認された鎌倉街道の道路と側溝
(鎌倉街道掘削遺構 (市場・西大久保境))

の道にも通じる機能的な道です。道の規模は幅員3〜5メートルもあり、側溝の幅は約50センチ、深さ30〜50センチあることが確認されています。

また、道の補修と側溝を掘り直した痕跡も確認され、中世の人々によって直しながら使われた道であることもわかっています。

毛呂山町内では、複数か所と同様の形を持った遺構が確認されています。点ではなく、路線として中世の道をたどることができそうです。

(詳細は広報もろやま4月1日号16〜17ページを参照)

中世の景観を復元できる遺跡群

毛呂山の「鎌倉街道」は堂山下遺跡という集落遺跡を通過しています。

堂山下遺跡は、越辺川の渡河点に位置し、「鎌倉街道」を挟んで両側に広がる遺跡の規模、他地域から持ち込まれた陶磁器などの出土資料から、中世文書や金石文などの史料にある「苦林宿」であると考えられます。

「鎌倉街道」と交通の要所である宿が確認でき、中世の道と宿の景観を知ることができそうです。

これまでに遺跡から出土した遺物から、鎌倉街道は、12世紀末から16世紀頃まで使われていたことがわかります。

また、史跡崇徳寺跡は、「鎌倉街道」、「苦林宿」と同時期に存在した中世の墓地です。かつて、延慶の板碑が立っていた遺跡で、板碑や蔵骨器が地下に良好に残っており、板碑が立てられた墓地の様子を知ることができます。

「鎌倉街道」沿線には、7世紀代に築造された古墳が群集している川角古墳群があります。古墳の墳丘からは、14世紀半ばの板碑が出土しているほか、崇徳寺跡にも小古墳があります。古墳は「鎌倉街道」を行き交う人も目にしており、往時からの景観を示すも

のでもありました。

毛呂山の「鎌倉街道」と周辺の遺跡群は、中世の道、宿、中世の墓地の様子を復元できる数少ない空間として注目されています。

幹線道路としての利用期間は中世が中心であったと考えられています。が、街道として使われなくなっているから、江戸時代以降の地誌『新編武蔵風土記稿』や絵図に「鎌倉街道」の名が記されています。

また、鎌倉街道沿いには、「鎌倉道」という地名があります。村びとたちが、中世の古道鎌倉街道であることを後世に伝え、地域で守り続けていたことがわかります。



▲発掘調査の成果と中世の絵巻物から再現した苦林宿の景観
(東京電機大学近津研究室製作)

町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	10/8(火)、10/28(月) 11/12(火)、11/25(月)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎ ☎ 313 (要予約)
	行政書士	10/16(水)、11/20(水)	10:00 ~ 15:00	役場会議室	役場総務課 ☎ ☎ 313
人権・行政相談	10/10(木)、11/14(木)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎ ☎ 313	
成人健康相談	10/2(水)	9:30 ~ 11:30	役場町民ホール	保健センター ☎ 049 (294) 5511	
	11/6(水)	9:00 ~ 12:00	保健センター		
電話健康相談	平日	9:00 ~ 17:00	保健センター ☎ 049 (294) 5511		
育児ほっと相談室	10/1(火)、11/1(金)	10:00 ~ 11:45	保健センター ☎ 049 (294) 5511		
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00 ~ 12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎ 049 (295) 2112 ☎ 126	
子育て相談 なんでも話してみよう	10/11(金)、11/8(金)	10:00 ~ 11:00	役場相談室	子育て支援センター ☎ 049 (294) 4820	
	10/25(金)、11/22(金)		子育て支援センター		
教育相談	平日	10:00 ~ 16:30	教育センター ☎ 049 (295) 2525 (電話相談可)		
心配ごと相談	毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	社会福祉協議会(ウイズもろやま内) ☎ 049 (295) 3111		
消費生活相談	毎週火曜日	10:00 ~ 15:00	役場相談室	役場産業振興課 ☎ ☎ 214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30 ~ 17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (ウイズもろやま内) ☎ 080-2274-1445		

灯籠と言えは燈籠流しを思い出しますが、神社の参道などに燈籠を立てて社への道を装飾するために立てられる燈籠もあります。なかでも燈籠に絵を描いた絵燈籠は幻想的な雰囲気をもたらし、参道を飾るのにふさわしい灯明といえるでしょう。

町内にも秋のお祭りに絵燈籠を立てる地域があります。大字大類の十社神社の獅子舞が行われる秋祭り、大字川角の玉林寺地区稲荷神社の秋祭りです。かつては大字西大久保の八坂神社の秋祭りでも立てられていました。四角い木枠に絵を書いた紙を貼り、お祭りの前夜から各神社とその周辺の道沿いに絵燈籠を立て、ろうそくや電球の明かりを灯して、祭りを祝います。

絵燈籠とは行灯の紙に絵を描き、さらに「地口」(同音の語句を使って意味の異なる文句を作るしゃれ)を書くことから「地口行灯」と呼ばれ、江戸時代中期ごろから流行して、寺院や神社の参道に燈籠の代わりにかけるようになってきたものです。町内の絵燈籠もこの地口行灯で、和紙に絵を描き、地口のような言葉を書き添えます。以前は絵と地口を書く店が玉林寺地区に

歴史散歩

第305回

毛呂山の
絵燈籠のまつり



大字大類の道沿いに飾られる絵燈籠

あつたそうです。

大字大類では、大類の交差点から南北に延びる大類の宿場沿いに燈籠が並びます。燈籠は十社神社に向かう道沿いにも立てられ、神社にはひととき大きな燈籠を飾っています。お祭りの前夜は「ヨイマチ」(宵祭りのこと)といい、古くは翌日の本祭りを迎えるにあたって氏子の当番や獅子舞の籠を務める子供たちが神社に宿泊してお籠りをしました。

大字川角の玉林寺地区では、玉林寺公会堂から稲荷神社までの道沿いと神社境内に絵燈籠を立てています。大類と同様に本祭りの前夜は「ヨイミヤ」(宵宮)といい、かつては神社に泊まってお籠りをし、本祭りを迎えました。

今年の絵燈籠は、どちらの地区でも10月12日夜7時ごろからの点灯を予定しています。点灯している時間は、ほんの1〜2時間ですが、各神社や道沿いの幻想的な絵燈籠の雰囲気を感じて、味わってみてはいかがでしょうか。